

各地で原発ゼロ集会・広島には中国5県から1000人が 春名候補は広島集会に参加、26日には上関原発反対集会にも



5年目の3・11を前後して。中国地方各地では、「原発再稼働許すな？原発ゼロの日本を」の集会・パレードが行われました。

広島では3月12日、中国5県から1000人を超える人々が集まり、「フクシマを忘れない！さようなら原発ヒロシマ集会」が開催され、「島根も上関も伊方もどこにも原発の建設を許さない」との集会アピールを採択しました。(写真)

参加した春名なおあき参院比例予定候補は、呼びかけ人に名を連ねている弁護士、学者、市民運動家などの方々に連帯の挨拶をするとともに、島根県をはじめ中国各県からの参加者を激励しました。春名候補は、3月26日には、山口市内で開催される「上関原発をたてさせない山口県民大集会」にも参加する予定です。

中間選挙勝利へ・・・大平議員・仁比議員、春名候補が全力

3月末から4月にかけて、中国ブロック内では笠岡市（岡山県）、福山市、三次市（広島県）、美祢市（山口県）、川本町（島根県）で中間選挙がたたかわれます。

日本共産党の各党組織と予定候補者は、地方選挙勝利と参院選勝利を一つにして全力を挙げています。

12日・13日に行われた各地の演説会やつどいには、大平喜信衆議院議員が福山市と川本町に、仁比聡平参議院議員が福山市に、春名なおあき予定候補が笠岡市に出かけて訴えました。

参加者からは「共産党が伸びれば、国も地方も変わる確信が湧いた」などの感想が寄せられています



保守や他党の県議からエール、赤旗拡大にも協力・・・鳥取

5日の全国機関紙部長会議を受けて、各地で「赤旗」拡大の輪が広がっています。以下、鳥取県東・中部地区委員会ニュースを紹介します。

・・・「ある無所属県議は、『一緒に頑張りましょう』と日本共産党のつどいへも参加。そしてこの方は日刊紙を読んでもくれることに。さらに日曜版の読者を増やしてくれました」・・・

「野党共同を進める新聞・赤旗」への期待が高まっています。「赤旗」拡大へ、広く打って出ようではありませんか。